

# 貨幣の条件



[貨幣の条件\\_下载链接1](#)

著者:上田 信

出版者:筑摩書房

出版时间:2016-2-15

装帧:单行本

isbn:9784480016348

貨幣が貨幣たりうるとは一体どういうことなのか。それを考えるのに恰好の対象がある。タカラガイだ。時と場を経巡りながらその文明史的意味に迫った渾身の一冊。

ヒトを翻弄する貨幣。あるモノが貨幣たりうる条件とは何か。それを考察するのに恰好の対象がある。タカラガイだ。呪物・護符・威信財・装身具や遊具と用途を変える貝は、なぜ貨幣にもなり得たのか。新石器時代から現代までの「時間」。大興安嶺の山麓からアフリカ大陸まで環のように経巡ってきた「空間」。史料の渉猟と雲南やチベットなどの踏査をもとに、時と場の両面から貨幣成立の謎や貝を取り巻くヒトと社会の諸相に迫る。

作者紹介:

上田 信（うえだ まこと、1957年9月28日-）は、日本の歴史学者、立教大学文学部教授。専門は中国史・アジア社会論。東京都出身。

中国史の領域では、主に明清時代（西暦14～19世紀）を研究、アジア社会論の領域では、ワールドミュージックなどの視点からアジアをどのように見るべきか、などの論議を展開している。

略歴:

東京都に生まれる。1980年 東京大学文学部東洋史学科を卒業。1982年 同大学大学院人文科学研究科東洋史学専攻修士課程修了、東京大学東洋文化研究所助手（-1987年）。1983 - 85年 中国・南京大学に留学。1989年立教大学文学部史学科専任講師。1990年助教授。1997年教授。

著作:

単著:

『伝統中国——〈盆地〉〈宗族〉にみる明清時代』（講談社選書メチエ 1995年）

『森と緑の中国史——エコロジカル・ヒストリーの試み』（岩波書店, 1999年）

『トラが語る中国史——エコロジカル・ヒストリーの可能性』（山川出版社, 2002年）

『中国の歴史（9）海と帝国——明清時代』（講談社, 2005年）

『東ユーラシアの生態環境史』（山川出版社〔世界史リブレット〕 2006年）

『風水という名の環境学 気の流れる大地』農山漁村文化協会 図説・中国文化百華 2007

『ペストと村 七三一部隊の細菌戦と被害者のトラウマ』風響社あじあ選書 2009

『大河失調 直面する環境リスク』叢書・中国的問題群 岩波書店 2009

『シナ海域蜃気楼王国の興亡』講談社 2013

共編著:

(木村靖二) 『地域の世界史(10) 人と人の地域史』 (山川出版社, 1997年)

訳書:

ロイド・イーストマン 『中国の社会』 (平凡社, 1994年)

目録: 知的冒険のはじまり

第1部 時をたどる旅(文明黎明期

雲南の諸王国

モンゴル帝国下の雲南

明朝と琉球王国

タカラガイ通貨の崩壊

タカラガイの経済理論)

第2部 場をめぐる旅(ムアンと呼ばれる小宇宙ータイ系民族の世界

棲み分ける諸文化ー雲南山地の世界

ダライラマが観た歌舞劇ーラサの祭り

神々の舞う大地ーアムド=チベット族の世界

シャーマンが身につけるタカラガイー大興安嶺のふもとにて

人類にとってタカラガイとは何か)

・ ・ ・ ・ ・ (收起)

[貨幣の条件 下载链接1](#)

## 标签

货币

宝螺

## 评论

对丝绸之路、茶马古道和蛮夷的理解彻底更新，原来如此...对爱好和平勤劳勇敢的民族有新的了解。可以说全球化说晚了百五十年前就开启了，说早了汉唐便已有雏形，包括货币使用边界的扩展。至于引进外资、搞外贸顺差、崇洋媚外可能真的只是古已有之，现在只是故技重施罢了。我族真是云山雾罩的民族。太多题外话，但普及了中国历史知识，向日本学习中国历史……

-----  
[貨幣の条件 下载链接1](#)

书评

-----  
[貨幣の条件\\_下载链接1](#)